



いしかわ労福協

第 520 号 2011年5月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田 弘志
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
 http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
 info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

震災復興支援メーデー

つながろうNIPPON! 絆・連帯・そして支え合いの力で東日本大震災を乗り越えよう!

82回石川県統一メーデー 金沢中央大会

■ニッポンの原動力・連合! 一日も早い震災からの復興に向け、支援活動に全力で取り組もう! ■震災不況の克服、求職者支援制度の確立で、希望と安心の社会づくりを進めよう! ■一日も早い労働者派遣法の改正で、非正規労働者の均等待遇を実現しよう! ■全国最低800円の実現に向け、最低賃金の大幅な引き上げを勝ち取ろう! ■労働基本権の確立を含む公務員制度改革を早急を実現し、自律的な労使関係を構築しよう! ■公共サービス基本条例や公契約条例を早急に制定し、より良い社会をみんなの力でつくろう! ■未組織労働者の組織化、同じ会社で働く非正規労働者の組織化に全力で取り組み、働く仲間づくりを進めよう! ■障がい者の人権及び尊厳と社会参加を保障、促進するための包括的な国際条約である障害者権利条約の早期批准を実現しよう! ■すべての労働者・退職者の参加で、ライフ・サポートセンター運動を強化しよう! ■教育の機会均等を保障し、少人数学級のさらなる拡大を図ろう! ■核兵器廃絶と世界の恒久平和実現、あらゆる人権侵害を許さない取り組みを推進しよう! ■メーデーの普及化、有給休暇の完全取得でゆとり・豊かさ実感できる社会を実現しよう!



谷本正憲石川県知事



森源二金沢市副市長

5月1日(日)第82回石川県統一メーデーが、県中央公園をはじめ県内8カ所で開かれた。

金沢市広坂の県中央公園での「金沢中央大会」では、参加者約2,500人(主催者発表)が集まる中、谷本正



上田弘志実行委員長

憲石川県知事、森源二金沢市副市長、奥田建民主

党石川県連副代表、宮下登詩子社民党石川県連合代表を来賓に招き、午前10時から開催された。まず式典では、上田弘志メーデー実行委員長(連合石川会長・石川労福協理事長)が「今年

は、震災復興支援メーデーとして『つながろうNIPPON! 絆・連帯、そして支え合いの力で、東日本大震災を乗り越えよう!』をメインスローガンに開催している。さて、私たち勤労者の雇用と生活は、進行するデフレ経済の下で格差が拡大し、低年収層が大幅に増加するなど一段と厳しさが増している。このような状況下にあっても、『すべての働く者の処遇改善』に向けて、また、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)と、ILOが提唱する働きがいある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)の実現に取り組みを強化する。最後に、一日も早い震災からの復興に向けて、支援活動に全力で取り組むと共に、震災不況の克服、自粛ムードの払拭など、希望と安心のある社会の実現に全力で頑張る。」と挨拶したあと、来賓からの



奥田建
民主党県連副代表



宮下登詩子
社民党県連代表

次頁につづく



ガンバロウ三唱

挨拶、スローガンの確認、メーデー宣言を採択し、ガンバロウを三唱して式典を終えた。

引き続き「復興支援イベント」に移り、サラリーマン川柳とプラカードの優秀作品を表彰した後、連合石川、労福協や福祉事業団体などに



力強くアピールするプラカード

よる被災地物品や焼きそばなどの屋台販売が行われた。また、ステージではバンド演奏、キャラクターショーなどが披露され会場を盛り上げ、参加者らは復興支援に向けた有意義なひと時を過ごした。

なお、屋台などの販売益は、震災義援金として寄付されるほか、イベント終了後には、金沢市内各地で募金活動を展開した。

当日、金沢市のほか県内各地で行った募金活動により集められた507,843円は、石川県を通じ日本赤十字社へ寄付される。



大震災被災地支援物品販売



労福協の焼きそば



バンド演奏



子どもに大好評のキャラクターショー



よさこいソーラン

これからの行事予定

(5月20日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
5月27日	金	石川労福協 第49回通常総会	フレンドパーク石川
〃	〃	金沢地域 LSC 総会	〃
31日	火	加賀地域 LSC 総会	加賀市労働会館
6月1日	水	七尾・鹿島地域 LSC 総会	七尾鹿島労働会館
〃	〃	河北地域 LSC 総会	サンライフ津幡
2日	木	第43回写真サロン展 (金沢展)	ラブロ片町
〃	〃	勤文協 第42回通常総会	フレンドパーク石川
〃	〃	中部会館協議会 定期総会・研修会 (～3日)	滋賀県
〃	〃	珠洲・能登地域 LSC 総会	珠洲市労働会館
3日	金	勤体協 第44回定期総会	フレンドパーク石川
5日	日	第43回写真サロン展 (金沢展) 合評・表彰式	ラブロ片町
6日	月	消団連 2011年総会、第1回消費者学校	フレンドパーク石川
8日	水	メーデー協賛「チャリティゴルフ大会」	ツインフィールズ
9日	木	中央労福協 2011年度全国研究集会 (～10日)	東京都内
20日	月	コープいしかわ総会	地場産業振興センター
〃	〃	さわやかU第11回総会	労済会館
21日	火	労信協 第44回定期評議員会	フレンドパーク石川
24日	金	北陸労金 第10回通常総会	県立音楽堂
27日	月	生協連 第46回通常総会	フレンドパーク石川
30日	木	石川労福協 第1回理事会	〃
7月7日	木	中央労福協 第4回地方労福協会議 (～8日)	沖縄県
29日	金	全労済石川 第2回代表者会議	労済会館

2010 年度第7回理事会を開催



第7回理事会

石川労福協は、4月28日(木)に第7回理事会を開催した。

最初に上田弘志理事長が、「来る5月27日に開催予定の第49回通常総会への提案議題、3月末日で事業を終了した緊急サポートネットワーク事業に代わる新たな子育て支援事業の具体案について、ご審議いただき労福協の2011年度に向けた活動への理解を求めたい。」と挨拶した後、前回理事会以降の経過報告がされ、了承された。

次いで、第49回通常総会での提出議案、新たな子育て支援事業、労働者福祉基金の積立目標額の達成と事業計画などの提案がされ、確認された。

石川県勤労者互助会

第4回総会が5月10日(火)金沢都ホテルで開催された。

宮下亮副会長の司会で開会され、綿征一会長から「石川の勤労者互助会は、3月末において会員数15,980名、融資利用508億円と、北陸労金全体の8分の1のシェアとなり、労金利用の拡大がされ、感謝致したい。新年度も未組織労働者の労金利用を更に訴えて行きたい。」と開会挨拶があり、続いて嶋垣利春北陸労働金庫石川県本部長から丁寧な御礼挨拶のあと、谷内英明事務局長から活動報告や新年度の活動計画(会員交流会の実施)などが提案された。

全ての議案は、満場一致で承認され、閉会した。

事務局長 谷内英明

フレンドパーク石川



屋内消火栓を使った訓練

5月19日(木)、石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)は、春の防火訓練を金沢駅西消防署

の宮本正樹消防司令補の指導で避難、消火訓練を実施した。

訓練は、出火元を1階の喫茶店と想定して始まった。当日は、入居テナントから約40名が参加し、全員速やかな避難をすると同時に初期消火を完了することができた。

その後、駐車場において、消火器や屋内消火栓を使った初期消火の操作訓練を行い、万一の火災に備えた。



消火器による訓練

訓練を終了して、宮本消防司令補から「火災発生時の基本動作である初期消火・通報・避難誘導はスムーズに行われており、意識の高さが伺われた。今後とも訓練により、万一に備えられたい。」と講評されたあと、会館消防隊長である宮下亮労福協専務理事が「家庭に戻っても日常的に必要な訓練であり、日頃の備えとされたい。」と締めくくり訓練を終了した。

フレンドパーク石川事務局 吉村和実

お知らせ 労福協事務局からの

退職



直江圭祐さん

6年間にわたり緊サポ事業のアドバイザーに従事してこられました直江圭祐さんが、事業の終了と残務処理を終え、4月30日に退職されました。この間、1千名を超える利用会員、サポート会員の連絡調整役として、事業発展にむけ、活躍されましたことに心より敬意とお礼を申し上げます。お疲れさまでした。

ニューフェイス



石井光江職員

4月1日から、新たに労福協のメンバーとなりました石井光江さんです。先に終了した緊サポ事業に代わり6月から実施する「新たな子育て支援事業」を担当しています。今後ともご協力をお願いします。

勤 体 協



ロードレース

勤体協は、5月1日(日)メーデー協賛ロードレースを今年から金沢城外周を周回する7.2kmの新コースに変更して開催した。当日は、男女80選手が参加して健脚が競われた。

- メーデー協賛ポ
ウリング大会(4月
29日)金沢市ジャン
ポボール)
- 【第1シフト】◇団体▽
1部 ①金沢JクA19
50②クレイジィA18
87③レイイス188
1④2部 ①うさぎA
688②同B1647③
シヨウチン1636④3
部 ①フレンドクB18
12②三遊会A1718
③フレンドクA1707
- ◇個人▽1部 ①松本
久雄山崎学習塾737
②川上秀則クレイジ
A682③HG265④
大沢允子レイイス6
73⑤2部 ①八田守幸
うさぎA598②HG
226③山沢豊和シブヤ
マシナリ④清水礼子
(パラッチ)567⑤3
部 ①金森きみ子フレ
ンドクB685②南邦子
(同C)653③庄村利夫
(シヨウチン)650
- 【第2シフト】◇団体▽
1部 ①金沢JクA19
70②津田駒工業A18
60③レイイス180
2④2部 ①サンケイ自
動車1800②チームE
IZO1768③葵ク1
768
- ◇個人▽1部 ①野村
潤(津田駒工業)710
②川上705③小塩勉金
沢JクA698
- 弓道大会(4月29
日)白山市鶴来武道
館)
- ◇団体 ①金沢市A太
田章、澤水幸、森坂洋晴22
中②北川ユニテック沖
谷知明、寺田勝彦、沖谷な
ほ子)20中③県庁(川畑直
樹、後藤真頼、水橋美喜夫)
20中
- ◇個人▽男子 ①真砂
照正10中②森坂洋晴10中
③坂井保夫(金沢市)10中
▽女子 ①小西文子10中
②川田彩夏津田駒8中
③岡本須賀子能登島8中
- メーデー協賛ロ
ードレース5月1
日)金沢市の県教育
会館前(仙石通り)
◇個人▽1部 ①葛城
光輔物見山ク25分37秒
②浜上貴志個人25分47
秒③中田武宏(春風クA)
26分2秒
- ▽2部 ①本間貴幸(雪煙
クA)26分22秒②中村圭宏
(同)26分28秒③竹内聡一
(レド) ①明園麻衣子(ス
▽3部)29分22秒②末吉
真規子個人29分33秒③
谷本小百合(スリッパ)
34分28秒
- ◇団体▽1部 ①物見
山ク源康、葛城光輔、
佐々木勇一)79分52秒②春
風クB(安藤三郎、前田
和幸、西村潤一、新出幸彦、
奥野達太郎)82分25秒③同
A(中田武宏、岸英夫、山下
大樹、山村卓樹)86分4秒
▽2部 ①雪煙クA久利
須隆、本間貴幸、中村圭宏、
北村匡裕)83分31秒②レド
下(釣田康弘、豊田真史、竹
内聡、加藤)84分56秒③北
鉄走友会A(中野真、北
川一天、木谷勝、太田真
樹、池田徳司)91分19秒
- ソフトボール
大会第2日(5月
8日)金沢市営専
光寺ソフトボール
場)
- ◇C組 ①DZシヤ
クス②武部のためにA
◇D組 ①浅井栄春堂
②ダイヤモンドカッター

河 北 L S C

河北潟クリーン作戦



ボランティアで汗を流すLSC会員ら

河北地域ライフ・サポートセンターは、4月17日(日)に実施された「第17回河北潟クリーン作戦」に、会員ら10名が参加して、美しい湖面を保つための一斉ゴミ拾いに勤しんだ。

河北LSCは、河北潟の自然環境と水質向上のために河北潟周辺の地域住民団体が中心となって毎年開催されている「クリーン作戦」に賛同し、昨年度からこの団体に加わり、ボランティア活動として取り組んでいる。

湖岸に散らばる大量のゴミを袋に詰めながら、釣り人のマナーや不法投棄に「なぜ?」と問いかけつつ、かつてのゴミのない自然を取り戻すことの難しさと地域住民への呼びかけや意識の向上を図ることの大切さを実感して汗を流しての活動であった。

河北地域LSC 事務局 吉田雅子

金 沢 L S C

タオルを寄贈

金沢地域ライフ・サポートセンターは、4月19日(火)連合かなざわと共に会員から集めたタオル1,160本を5つの地域密着型老人介護施設に贈呈した。当日は、連合かなざわ宅本門事務局長と金沢地域LSC谷内英明事務局長、同吉田寿子事務局次長が施設を訪問し贈呈した。

施設の関係者からは、「何本あっても助かります。」などの喜びの声をいただき、この活動を継続しなければならないことを改めて実感した。



タオルを贈呈する
谷内事務局長(右)ら

金沢地域LSC 事務局次長 吉田寿子

東日本大震災への義援金

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

フレンドパーク石川互助会会員の皆さんから「緊急カンパ」箱にいただきました温かい善意の義援金10万円は、5月11日(水)、前回と同じ石川県災害対策本部へ義援金として納めました。これで前回のものと合せ20万円の義援金となりました。ご協力ありがとうございました。

